

平成30年度 鹿児島県広報コンクール

①市町村 ②作品名 ③収録時間 ④担当課

■映像部門

〈特選〉



- ① 霧島市
- ② 目指せ褒め合うまち！クリスマススター
- ③ 1分57秒
- ④ 霧島市 霧島PR課

○講評

〔企画〕

- ・「褒め合うまちへ」という明確なコンセプトがあり、制作の意図もよく伝わっている。
- ・子どもたちの朗読で、褒め言葉をリレーして人と人の繋がりや温かさを表現し「みんなで褒め合う交換日記」を映像で分かりやすく伝えている。

〔表現・構成〕

- ・映像もプロ並みで、編集も上手い。見る人を引き込む流れもあり、高く評価できる。
- ・子どもたちが褒め言葉について朗読し、教室から外に出て市民と触れ合い、そして教室の黒板の文字を1文字消して締める構成が分かりやすく良い。

〔視覚的効果〕

- ・子どもたちの映像も効果的で、視覚的効果がそのままメッセージにつながっている。
- ・子どもたちの表情をズームや特殊効果等使わずシンプルなカットで積み重ねているが、カットの絵の構図、背景を工夫し、霧島市の魅力も併せて伝わるような映像を作り出している。BGMの入るタイミングなど絶妙な間合いで内容を引き立てている。

〔その他〕

- ・しっかりとした撮影技術、編集によって短編映画のような作品に仕上がっている。

平成30年度 鹿児島県広報コンクール

①市町村 ②作品名 ③収録時間 ④担当課

〈 入 選 〉



- ① 鹿屋市
- ② 【世界記録挑戦】ミュージックビデオ ver.
- ③ 1分31秒
- ④ 鹿屋市 ふるさとPR課

○講評

〔企画〕

- ・ 奇想天外な世界記録に挑戦する面白さがあり、企画力を評価したい。
- ・ 「かのやカンパチロウ」がユニークな世界記録に挑戦する姿は、動画サイトで注目を集めやすい独自性がある。そこを導入にして和牛日本一を紹介するアイデアは面白い。

〔表現・構成〕

- ・ 挑戦の無謀さはもっと面白おかしく表現してもよかった。ふるさと納税のPRが具体的に見えてこなかったのは残念。
- ・ 「かのやカンパチロウ」が世界記録にことごとく失敗するも、日本一になった和牛はほぼ世界一であるとのオチであるが、世界記録と和牛の結びつきが弱い。

〔視覚的効果〕

- ・ ドローンなど映像の撮り方に工夫があり、視覚的効果も考えている。
- ・ ドローンを使った美しい映像の撮影技術や早送りなどの編集テクニック、和牛を世界地図のように並べるなど高次元の映像にまとめられている。

〔その他〕

- ・ へばった「カンパチロウ」に和牛を食べさせて復活するなどの構成にすれば流れが良くなるのでは。